

# ついに、新設大学に！ 色彩治療の躍進！！

11/1 に院長（加島春来）が中国に招待されました。

その理由としては、中国の授与式に参加して頂きたいと招待された為です。その式典はとても大きな物で上海の政治家は50人以上集まり、海外からも物理学者や波動エネルギーを使った検査を研究されている方やテレビ局や報道関係と様々な方が集まる式典でした。

ではなぜ院長がその式典に招待されたのかと言いますと…

## 陆家嘴国际联合大学堂 の終身教授に加島春来が 選ばれたからなのです！！



【授賞式の様子】



【終身教授証明書 No. 0001】

この終身教授は招待された各著名人の中から3名しか選ばれておらず、しかも院長はNO.1という最初の称号を得ました。

大学堂とは、来年の3月に開校される、新しい大学になります。大学堂と付いているのは、中国では出来たばかりの大学をそのまま大学と付けるのではなく、大学堂と付けて、学校の発展状況を審査して、のちに大学に昇進するという仕組みになっております。

この大学のコンセプトは学生の想像力と社会に出た時の役立つ能力を培うことに力を入れています。学生の先駆的な精神に懸念、革新的な能力、独立した作業能力と技術、社会・経営スキルなどを学ぶ学校となっています。これだけ見ると良くある大学の理念のように見えますが、大学には「情報・エネルギー医学」、「生態学的建築」、「音楽・人文交流」、「ヒューマン・スペース・デザイン」、「ビジネスマンの思考」など5つの専門家のワークステーションを設立致します。



陆家嘴国际联合大学堂

そのことにより、学生は職場の生の声や職場の風景を見ることが出来、社会に出てより実践的な技術を身につけ発揮することが出来るという目的だと考えられています。

また地域との関わり合いを深く持つことを考え、今の医療上の制限から生まれた地区保健管理サービスとはまた違った新しい形は、大学がすべての地区、すべての家族に及ぶ医療サービスを提供し、高度な技術、物理学の知識、中医学の深さ発展、を実際の患者様に行うことで将来の新しい医療モデルを作成する事が出来るのです。

この様に今までに無い分野を大学に取り入れて、新しい発想や技術を学んで行く大学になります。

さて、なぜ長々と大学の説明をするのかと言いますと、もうおわかりの方もいらっしゃると思いますが、この大学堂になんと、**色彩治療の学部が設立**することになりました！



そのため上海では院長が色彩治療の出来た理由や、国際色彩診断治療研究会が発足した経緯などを発表致しました。しかも色彩治療の学部で優秀な方に贈る、最優秀賞があり、その賞の名前が「加島春来賞」となり院長自身も驚きました。色彩治療を発明した院長の名前がこの先ずっと残っていく事になるのが、非常に嬉しく思っております。まさに今後発展していく治療法になったのだと思います。

色彩治療を学べる大学ができると、色彩治療の原理や色彩治療をする事で、どの様に現代医学で変化するのか、また波動療法の検査方法も同じ分野で入ってくるので、その検査で変化するののかも確かめることが出来ます。

今まで色彩治療を知らない人が多く、また患者様も色彩治療の事を説明することが難しかったと思います。施術者である私達も同じです。ですが、今後この色彩治療が大学で実験により科学的に解明され、実際の患者様を多く治療する事での統計的な数値が解ることによって、より身近になり、多くの方々に知って頂く事が出来ると考えております。

皆様の応援があったからこそ、この素晴らしいご報告が出来たのだと思います。今後も現状に満足せず精進して参ります、今後ともよろしくお願ひいたします。

